事業所名グループホーム安養

作成日: 令和 5 年 2 月 23 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	非常時の地域から、地域への協力が不可欠であります。	地域避難訓練への参加および施設訓練へ町内の方の参加	町内会長や民生員の方へ訓練参加の案内、町内訓練の確認を行う。消化器の取扱い方や避難のシュミレーションなどの確認を行いながら非常時での協力体制を築く。	6～12ヶ月
2	5	玄関はオートロックになっており自由に出入りが出来ない様になっている。開設時からの仕様であります。現在は夏場のみ風通しをよくするため開錠の日を設けています。	開錠の日を増やす。自由に出入りできる様したい。	入居者様が屋外に散歩など希望があった時臨機応変の対応を行う。開錠の日や時間を増やす。職員は見守りの徹底を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。